

## 『ふるむ・マラウイ』～赴任地：デッサ～

30<sup>th</sup> /Sep/2010 第2号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

私の住むデッサ (D e d z a) は、首都リロングウェから約90km南東に位置している中規模の町です。モザンビーク国境に接し、イミグレーション (出入国管理事務所) があります。

デッサはマラウイで最も標高が高い町で (約1,700m) 知り合いになったマラウイアンから『デッサは寒いぞ』と口々に言われました。確かに冬に当たる小乾期 (4月～8月) はかなり寒いです。私はデッサに8月に赴任しましたが、朝の気温は5以下になりものすごく寒かったです。あまり厚手の服を持っていなかったのですが、フリースを一枚もっていたので重宝しました。とにかく寒かった!

夏にあたる乾期 (9月～1月) は、昼間は30くらいに上がりますが朝夕は15くらいまで下がります。日中でも木陰の下は涼しいです。日本の夏より湿度が低い分過ごし易いかもかもしれません。

風光明媚なところで、温泉でもあれば山のリゾート地になると思います。とにかく景色がとても良い!

町の雰囲気は『田舎町』という感じですが、生活必需品は、一通り購入できますし、常設の大きなマーケットもあるので食料の購入もものすごく困るということはありません。



自宅前の風景 (夕焼け)